

英語の先生を
目指す皆さんへ

2020年度卒業生に英語学科の教職課程の学びについて聞きました!

この3人は、4月から長崎県公立中学校、長崎県公立小学校、長崎県私立中学校で
教壇に立っています!質問
1Kさん: 今回ファシリテーターを務めさせていただきます。まず、先生になろうと思った皆がなぜ活水を
選んだのかを教えてくださいなあとお願いします。Iさん 私が生水に行きたいって思ったのは、高校3年生の夏にオープン
キャンパスに参加した時。私はもともと小規模の学校にいたから、
少人数での授業が、すごい自分にも合ってるなって思った。あと、
教育学部はないんだけど、教職支援室があるっていうのを知って、
あ、すごく良い環境なんだろうなって思ったのがきっかけなの。
もう1つは、高校生の時の英語の先生が活水出身で、すごくいい大学
だよっていうのを高校生の時から聞いてたから活水に行きたいなって
思った。

Kさん そうなんだ、素敵♥ Hちゃんはどう?

Hさん 私もIちゃんと似てて、高校時代のときの先輩が活水女子大学で
活躍なさっていることをお聞きしてたから、私もそうなりたくなって思っていました。あと活水女子大学の英語学科で専門性を
身につけたいなあとと思って選んだって感じです。Kさん 面白い♪ それぞれストーリーがあるね。私は、留学をしたいのと、先生の免許取りたいって
いうのと、部活の吹奏楽部をずっと続けたいのと、この3つがずっと自分の中で大学を
選ぶ時に基本になって、それが活水で一番達成できそうだなと思った。それで、意外と
迷わずに活水に決めたのをすごい覚えてるかな。

Hさん すごい、ちゃんと達成できてる!

Kさんは、大学在学中、
アメリカのマーチングバンドに入って
コンテストに参加したという
すばらしい経歴の持ち主です!質問
2

Kさん: 活水の学びの中で教職を目指すのに役立ったことはありますか。

Iさん 私が教職を目指して一番役に立ったと思ったのはやっぱり教職支援センターのサポートかな。勉強する場所をしっかりと作って
くださっていて、みんなで勉強する部屋と1人で勉強する部屋に分けられて、例えば誰かと一緒に勉強したいときはみんなの
部屋を使って、でも1人で集中したい時は本当に個人の部屋でっていう感じで、その
勉強だけにのめり込める場所がちゃんとあるのがよかったです。場所だけでなく、
その教職支援センターの先生方が、実際に教員として働いていらっしゃる人の講話を
聞く機会を設けてくださったりもしました。そんなふうに、教員になりたい人にとって
すごくいい環境だったなっていうのが一番かなって思います。

Kさん いいね、うん、じゃあ、Hちゃんはどう?

Hさん はい、私はさっきIちゃんが言ったように、教職支援センターの先生方のおかげで教育
に関しての情報が入ってきたり、どうやって教員採用試験を乗り越えればいいのかを
しっかり学ぶこと、知ることができたかなって思う。で、その教職支援センターを利用している他学科の学生とか、先輩方とも
つながりを持って、どうやったらいい授業ができるのかをしっかりと考えることができたから良かったなって思ってます。Kさん 私は授業とか、仲間とのつながりに触れさせてもらおうと思います。授業って単位を取る
ために受けるけど、英語学科担当以外の先生、例えば子ども学科の先生だったり、いろんな
担当の先生の教育観を知りながら単位を取れるのって、自分の教育観を形成する上でも
すごい大事ななと思った。いろんな先生から教育について学べるっていうのが本当に
面白いし、いいなって思った。それと、模擬授業をする授業で、意外と先輩とか先輩とかに
関係なく指摘あったり、褒め合ったりすることができたよね。それって、やっぱり活水の
いいところなんじゃないかなって思う。今年は特にコロナで授業がなかった時もLINEで
情報を共有し合ったりして、授業のためだけでなく、お互いを高めあうために教職を
とってるっていう雰囲気がすごくよかったと感じたかな。生徒1人1人に
合ったサポートができる
教員になりたいと
思っています。1人1人の生徒が
自分の良さを
引き出せるよう
手助けできる先生に
なりたいです。

質問 3

Kさん：みんなすごく満足した状態で教職課程を終えましたが、活水の英語学科で4年間教職に就くために十分な英語力をつけられたと思いますか？
そして、もしつけられたとするなら、何が役に立ったのかを具体的に教えてもらいたいと思います。

Iさん 私は、教員になるための十分な力は身につけることはできたのかなって思ってるんだけど、まだまだ足りないところが自分にはあるから、そこをしっかりと活水で学んだ延長線で頑張っていきたいなって思っています。何が一番役に立ったかっていうと、やっぱり**ネイティブスピーカーの先生のクラス**。最初大学に入ったときは、指示とかもなんて言ってるか本当にわからなくて、ああ、自分大丈夫かなって思ってたけど、もう今になったら何を言ってるのかとか、何を伝えたいのかっていうのも全部わかるようになりました。あと英語力を上げるっていう意味では一番は**留学**かなって思う。私は4か月間留学に行ったんだけど、そこで本当に自信をつけて帰ってこれたなって思います。

Kさん 面白い、じゃあえっと、Hちゃんはどうか？

Hさん うん、私も教員採用試験の加点制度とか、教員採用試験のテストを解くための英語力は活水女子大学で身につけられたと思います。どうやって英語力を磨けたかっていうと、やっぱり**少人数の授業だからこそ発言する機会が多くて**、スピーキング力が日本にいながらでも向上させることができたって思うかな。

Kさん なるほど、なるほど、そうだね。英語学科って聞くと、もしかすると、ただ英語の授業を受けてるだけみたいなイメージもあるかもしれないけど、**いろんな角度から英語を学べた**と私は思うな。例えば授業でも、本を読んだりとかプレゼンテーションがあったりとか映画見たりとか、いろいろできたよね。私の場合もアメリカ留学での経験だったりとか、大学に来るアメリカ人の子たちと交流したりとか、英語って1つだけど、それに対していろんな角度で関わられたなあっていうのが、すごい自分の中では良かったなって思える点だな。またあと何だろう、英語力だけじゃなくて、**積極性**だったりとか**異文化に対する理解**とかを身につけられたのは本当に宝物だなんて思います。でも、やっぱり教えるための英語とか、オールイングリッシュで授業をするとか、まだまだ私たちにとって難しい部分はあるかなと思うので、みんなで頑張ろう！

Hさん 頑張ろう！
Iさん



質問 4

Kさん：教職課程を大学で取ろうかどうしようかなって思ってる高校生に対して**アドバイスやメッセージ**があったらお願いします。

Iさん 高校生みなさんには、先生になりたいのであれば、やっておいの方がいいことを伝えたいと思います。私は**まず教育に関すること、何でもいからやっぱり知ることから始める**——どんな職業なのかとか、今どういう授業が行われているのかとか、やっぱりそこを知らないと、大学に入って教職を取る時にギャップができて自分自身が辛くなると思うから、その動向を知ったりとか、それぞれの教科の基礎を固めておくというのが、今できることかなって思います。

Hさん うん、私は**大学選びの観点**からメッセージを贈りたいです。大学はいろいろな特徴があって選ぶのに迷うかなと思うけど、私が教師を目指す上で活水を選んだ理由の1つは、やっぱり**少人数教育**だからです。ほかの大きな大学だと模擬授業を5分しかしたことがないという学生さんも結構いるって聞いてびっくりしたんだけど、

活水女子大学では45分まるまる私たちがいただいて授業をさせてもらえたよね。それって、かなり大きなことかなって思う。大学を選ぶ観点として、教授1人に対しての学生の人数とか、そのサポートはどのようになっているのかをしっかりと調べて大学を決めるといいかなと思います。

Kさん 私は教職取ろうかどうしようかなって迷ってる人にアドバイスをしたいです。**教職って教員を目指さない人にとってもすごく価値がある**なって今思ってるんです。やっぱり教育ってどんな人も受けるものであって、親になっても、自分が会社とかで上司っていう立場になっても、教育っていうのは常に自分の中に関わってくるんじゃないかなって思う。その中でこの教職課程での勉強っていうのは、人としてどう在るべきかだったりとか、日本の教育について考えさせられたりとか、ただ先生になるための勉強じゃないんですよ。なので、もし迷ってるっていう人がいたら絶対教職を取って損はないということを1つ伝えたいと思います。

ここまでたくさんの質問に答えてもらったんですけど、4月から3人それぞれの場所で素敵な先生を目指して頑張りました。

Hさん 頑張りました！ ありがとう～(°o°)
Iさん

ありがとうございました。
素敵な先生になってくださいね🍀

